

PCR検査集中実施の進め方について（令和3年2月10日）

- 本日は、PCR検査集中実施の進め方について説明します。
- こちらが本日お伝えすることです。4つに分けて説明してまいります。

【直近の感染状況について】

まず、直近の感染状況についてです。

・スライド 4

- これは、昨年3月以降の発症日別の流行曲線です。
- 昨年11月末から急カーブで感染者が増加しましたが、年末で増加のピークは抑えられて、現在は減少傾向にあります。

・スライド 5

- 他自治体と広島県の人口10万人あたりの新規報告数を比較したものです。
12月下旬には、全国2番目となった時期がありましたが、皆様の協力のおかげで、2月9日時点で2.42まで減少しました。

- 2月8日までの情報で、全国で30番目まで下がっています。

・スライド 6

- 新規感染者の減少に伴い、病床利用率についても減少を続けています。

・スライド 7

- 2月9日時点の分科会参考指標です。直近1週間の人口10万人あたりの新規報告数について広島市及び県全体で警戒基準値である4.0を下回りました。
- その他の指標についても安定して減少を続けています。

【PCR検査集中実施の進め方】

- 続いてPCR検査集中実施の進め方について説明します。

・スライド 9

- まず、集中実施の目的をおさらいします。
- 感染の再拡大防止と 県民の社会経済活動への影響を最小化し、長期化を回避するた

め、「早く、強く、短く」という考え方のもと、広島市の特に感染者が多い地域においてPCR検査を集中的に実施し、徹底的に感染の連鎖を断ち切り、確実に感染拡大を抑え込む、というのが、この事業の目的でした。

・スライド 10

- 一方、1月18日から2月7日までの間、第2次集中対策として、こちらの4つの戦略で取り組んでまいりました。
- このうち、「戦略3」で、陽性者の早期発見による感染リンクの遮断として、検査の集中実施を戦略の一部に位置付けているところです。

・スライド 11

- これは、11月下旬以降の感染状況にこれまでの対策を重ね合わせたものです。
- 12月12日から第1次集中対策を始め、12月17日には、時短の要請を1月18日には、対象業種とエリアを広げて時短の要請を継続しました。
- これらの取組を通じて、県民や事業者の皆さまのご協力により、2月6日に、10万人当たりの新規感染者数が、警戒基準値の4.0を下回ることとなりました。

・スライド 12

- 先程のグラフを表で表したのもご覧いただきたいと思います。
- 11月20日から2月4日までは1週間ごとの数値2月5日からは日別の数値です。
- 先程のグラフでは、警戒基準値を下回ってからの推移が見にくかったですが、6日に警戒基準値を下回って以降、昨日まで、安定した推移が見られます。

・スライド 13

- このように、広島市において感染者が減少し警戒基準値「4.0」を下回っていることから、「PCR検査集中実施」については、当面、中区における部分的な試行とします。
- その運用検証を踏まえて実施体制の精度を高めて、次の感染急増時に備えることとしました。

・スライド 14

- もう少し具体的に言うと、中区内の居住者及び事業所を対象に、PCR検査を部分的・試行的に実施して、「予約から受付、検体採取、検査、検査結果の連絡、ホテル療養、積極的疫学調査」といった集中実施の運用フローにおける課題をチェックし、本格実施に向けて万全の体制を整えることとします。

・スライド 15

- 部分的・試行的に行う検査の方法として、2つのパターンを考えています。
- 一つは、中区の一部の居住者を対象として、2月19日から21日の3日間、先着約6,000人の方に旧広島市民球場跡地でウォークインとドライブスルー方式によりPCR検査を受けていただきます。
- もう一つは、「就業者」を対象として、2月24日から26日の3日間、従業員の検体を事業所で取りまとめていただいて県がその検体を回収する方法です。
- 検査料は、いずれも無料です。

・スライド 16

- もう少し詳しくご説明します。
 - まず、居住者の方が、個人で検査を受ける場合ですが、2月19日（金）からの3日間、対象地域にお住まいの方約6,000人に検査を受けていただきます。
 - 対象地域は、地域バランスや人口規模などを勘案して白島中町や基町など、計13か所の町としています。
 - 検査場所は、旧広島市民球場跡地で、10時から20時までウォークインとドライブスルー方式の両方で唾液によるPCR検査を実施します。
- 受検にご協力いただける方は、事前にネットか電話で予約していただきたいと思いません。予約受付は、2月16日から開始します。1日、約2,000人の検査能力を確保していますが、受検申し込み者が多い場合は、先着となりますので、ご了承願います。
- また、広島市薬剤師会のご協力により、対象地域内の薬局で、唾液をとる容器を受け取ることができます。お近くの薬局で容器と説明書を受け取ってご都合のよいときに、旧市民球場跡地の会場にその容器（検体）を提出していただくことができます。
- 容器を受け取ることができる薬局については、近日中に県のホームページに掲載する予定です。

・スライド 17

- これは、市民球場跡地の会場の配置図です。
- ドライブスルー方式とウォークイン方式の両方ができる体制となっています。

・スライド 18

- もうひとつの方法が、事業所単位で従業員の検体を取りまとめていただく方法です。
- こちらは、中区全域を対象地域としております。個人向けのように、細かく町名を限定していません。
- 受検方法は、まず、県が、従業員の検体を取りまとめていただく事業所を公募し、受検が決まった事業所に、県が、検体容器を配送します。
事業所には、受検を希望する従業員の検体を取りまとめていただいて
県が、その検体を回収する、という流れになります。
- お願いとしまして、回収の効率を上げるために、1事業所当たり30人以上の従業員に受検していただきたいと思っております。
- 2月16日から申し込みを受け付ける予定ですが、申し込みが多い場合は、先着2,000人となります。就業者の皆さんには、積極的な受検をお願いします。

【次の感染拡大期に備えて】

- それでは、本格的な集中実施はいつするのか、次の感染拡大時に備えた考え方を説明します。

・スライド 20

- 今後、感染の再拡大をいち早く探知して、タイムリーに感染拡大防止強化策を実施します。
- このモニタリングで、感染の拡大兆候が見られた場合は、一定の対象地域にPCR検査を「集中実施」します。

・

スライド 21

- モニタリング・ポイントとしては、流川と観音のPCRセンターを活用します。
- 流川と観音のPCRセンターでは、現在、飲食業や医療機関、高齢者施設等の従業員を対象にしていますが、2月22日からは、当分の間、広島市内にお住まいの方であれば、誰でも検査ができます。
- ただし、流川と観音を合わせて毎日、先着500人とさせていただきます。

○ これまで対象だった、飲食業や医療機関等の従業員の方はこの500人には含めません。従来通り受検ができます。

○ 受検をされる方は、事前に予約をお願いします。予約センターについては、後ほどご案内します。

・スライド 22

○ モニタリングについては、このPCRセンターのほか、様々な指標を参考に、専門家の意見を聴いていつ集中検査を実施するか、そのタイミングを総合的に判断します。

○ モニタリングの指標としては、人口10万人当たりの全療養者数や直近1週間の人口10万人当たりの新規報告数医療機関の陽性率など、注意深く見ていきたいと考えています。

・スライド 23

○ これは、予約センターのご案内です。旧広島市民球場跡地や、流川・観音のPCRセンターでの受検や事業所単位の受検にご協力いただける方は、ご連絡をお願いします。

○ ネットでも電話でも予約ができます。2月16日から予約の受付を開始しますので中区にお住まいの方や働いていらっしゃる方は、積極的に検査を受けていただくようお願いします。

【県民の皆さまへのメッセージ】

○最後に県民の皆様へのメッセージです。

・スライド 25

○外出自粛や時短要請など強い措置には、県民の皆様や事業者の皆様の多大な負担を強いることになります。

○そのような強い措置を取る前に検査によって、早期発見、そこから先の感染経路を断ち切るというのが我々の一環したPCR戦略です。

・スライド 26

○そもそも、人から人へ感染する新型コロナウイルス感染症の場合、感染拡大を防止する

ためには

- ・ 一つは、人と人との接触を広く全般に遮断すること
 - ・ もう一つは、陽性者との個別の接触を遮断すること
- の2つの方法しかありません。

○個別に感染の連鎖を遮断できるつまり、積極的疫学調査で感染拡大を防止できる程度低い感染レベルで抑え込み続ける我々は、PCR戦略によって、そういう状態を目指しています。

・スライド 27

○集中検査は、いわば、「感染の連鎖を遮断」できるレベルから「人と人の接触を削減」しなければならないレベルの中間あたりに位置付けています。

○特に県民の皆様にご理解いただきたいことは、この検査の本質は、一定の地域を対象に、集中的に検査をすることで、感染の連鎖を遮断し、感染拡大を防止するということです。

○今回当初の企画は、広島市中心部全体に感染者が多く、市中への広がりが見られたので、広島市4区という比較的、広いエリアを対象に検討したものです。

○今後、実施する場合のタイミングや対象地域については、感染状況を踏まえ、専門家の意見を聴いた上で、その時々状況をもって判断したいと考えておりますが、

○感染拡大初期であれば、より地域を絞った形で集中検査をできると考えています。「大規模検査」という報道もありますが、本質から言えば、もっとピンポイントな地域で実施する可能性もあるということです。

○いずれにしても、いざという時には、集中検査を実施して、可能な限り強い措置を実施若しくは継続しないで済むよう取り組んでまいります。

・スライド 28

○このよう感染対策を行い、PCR検査により感染者を早期に発見しその先の感染経路を断ち切ることで、新規感染者を抑え込み続けることを目指してまいります。

・スライド 29

○PCR検査集中実施の進め方については、以上となりますが最後に県民の皆様をお願い

です。

○皆様のご協力のおかげで、 新規感染者数が減少傾向にあります。

○引き続き皆様にはご負担をおかけいたしますが、県民の皆様の社会経済活動を回復させるため、引き続き第3次集中対策への御協力をお願いします。

・スライド 30

○そして、対策期間中であるなしに関わらず継続して行っていただいことをご説明いたします。

○まず基本的な対策として、

- ・マスクの着用
- ・咳エチケット
- ・こまめな手洗い

を徹底してください。

○そして、風邪症状等のある場合はすぐに医療機関を受診し、検査を受けてください。

○また、勤務の場では、Web会議やテレワークを活用し、出来るだけ人との接触を避けるようにしてください。

・スライド 31

○ 飲食店における感染予防対策の徹底も引き続きお願いします。

一つ目は、飛沫感染予防対策です。

- ・座席の3方をパーティションで仕切る
- ・または、他者との間隔を必ず1メートル以上離す
- ・もしくは、マスク会食を全利用者に徹底

のいずれかの対策を行ってください。

○ 二つ目に、密閉な状態を作らないために、換気扇やサーキュレーターの活用とともに窓を開けるなど換気による感染予防対策をお願いします。

○ 三つ目に、飲食店利用者に対して飛沫感染防止対策の徹底をお願いします。

○ 以前からお願いしていることですが、

①から③は、利用者の協力があればいずれの店舗でも実施可能ですので、確実に実施いただくよう、お願いいたします。

・スライド 32

○感染拡大させないための4つのキーワードを改めてご紹介いたします。

- ①親しき仲にもマスクあり
- ②休む勇気・休ませる配慮
- ③あなたの早期受診がみんなを守る
- ④他の感染拡大地域への往来に注意

・スライド 33

○特に3つ目のメッセージ「あなたの早期受診がみんなを守る」に関しまして、これから花粉症のシーズンです。花粉症の症状と判断に迷うこともあるかと思えます。

○新型コロナウイルスは花粉症の症状とも似ています。

○いつもの花粉症かもしれませんが、心配な時は、「かかりつけ医」にお電話いただき、もし相談先に迷うときは「積極ガードダイヤル」にお電話ください。

○そして、かかりつけ医に検査について相談してみてください。

○皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

・スライド 34

○また、これから卒業式などのシーズンです。

○卒業式等の式典については、マスク、換気など感染防止対策を徹底するとともに、人と人との間隔を十分に確保するなどお願いします。

○謝恩会、歓送迎会、花見などについては、

- ・ 飲食を伴わない開催を検討し、
- ・ 飲食を伴う場合は、会話の際は必ずマスクを着用するとともに、正面や真横を避けて座ってください。なお、屋内で開催する場合は、パーティションの設置など感染防止対策が徹底されている「積極ガード店」などで開催してください。

※立食パーティーについては、マスクの着用の徹底と、人と人との間隔の確保が困難であることが想定されるため、開催ならびに参加を控えてください。

○卒業旅行については、なるべく混雑しない平日を選び、いつもの仲間で行動してください。また、事前に旅行先の感染状況を確認し、リスクが高い地域への旅行は控えてください。

○皆様のご協力をお願いいたします。